

令和5年度東京都立中央ろう学校 高等部シラバス

学 部	高等部	学 年	6	単位数	4
教科	コミュニケーション英語Ⅲ	グループ名	S		
科目等名	英語				
ねらい	読んだことを理解し、情報や考え方などを整理できる能力を養う。既習事項を生かして、自分の考えを英語で適切に表現できる力を養う。				
担当教員	大和田 章、増澤 智恵				
年間授業時数	140 時間				
使用教科書	MY WAY English Communication Ⅲ				
副教材等					

学 習 計 画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫 配慮事項
前期	4	Reading Skill1,2	12	主語と述語動詞、フレーズリーディング	ICT 機器を活用し、生徒の解答や意見等が見える化することで、さまざまな考え方を共有できるようにする。
	5	Reading Skill3~5	12	代名詞、未知語の推測、パラグラフ構成	
	6	Reading Skill6,7	16	ディスコースマーカー（列挙・例示、時間的順序）	
	7	Reading Skill8,9	8	ディスコースマーカー（比較・対照、原因・結果）	
	9	Reading Skill10,11	16	スキミング、スキヤニング	
後期	10	Lesson1~3	16	エッセイ（異文化・歴史） 人物伝（生き方・国際交流） 論説文（科学・医療）	教科書の内容のほか、大学入試や各種検定等への対応力を上げるため、演習を定期的に行う。
	11	Lesson4~6	16	エッセイ（異文化・歴史） 論説文（科学・社会） ディベート（文化・日常生活）	
	12	Lesson7~9	12	論説文（比較文化・植物） 論説文（環境・共生） 人物伝（生き方・平和）	
	1	Lesson10~12	16	論説文（脳科学・学習） エッセイ（現代社会・技術） 論説文（情報社会・倫理）	
	2	Lesson13,14	12	論説文（平和・演説） 論説文（ことば・国際社会）	
	3	Reading1,2	4	物語	

3 評価の観点及び評価方法

評価は、次の3つの観点から行う。

知識・技能	・外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・目的や場面、状況などに応じて、社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	・話し手、書き手の背景にある文化に対する理解を深めるとともに、その背景に配慮しながら、基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどを、論理性に注意して書いたりして表現したり伝え合ったりしようとしている。

このため、具体的な評価の対象は次のものとする。（評価方法や評価のポイント）

- ・定期考査、課題の提出状況や授業への参加態度などを総合的に評価する。

令和5年度東京都立中央ろう学校 高等部シラバス

学 部	高等部	学 年	6 年	単位数	4
教科	国語	グループ名	Gグループ		
科目等名	現代文B				
ねらい	(1) 近代以降の様々な文章を読み、的確に理解する力と適切に表現する力を高める。 (2) 文章を読むことを通して、書き手や文章中の人物のものの見方、感じ方、考え方に触れ、それについて思考したり批評したりできるようになる。				
担当教員	吉野美保、山崎亜矢				
年間授業時数	140				
使用教科書	「現代文B」(第一学習社)				
副教材等	「現代文B学習課題集」、「読解を深める現代文単語 評論・小説」(桐原書店)、自主作成プリント、問題集				

学 習 計 画

	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容、ねらい(評価の観点)	指導の工夫 配慮事項
前期	4	・「自明性の畏」からの解放	1 2	【学習内容】語句の意味理解と用法、内容読解、筆者の主張を読み取る。【ねらい】評論文の基本的な読み方を身に付ける。	・電子黒板やホワイトボード等を活用する。拡大提示した本文に直接傍線を引く等、学習内容が理解しやすくなるように、視覚支援に努める。
	5	・「私」中心の日本語	1 3	【学習内容】慣用句の意味と用法、指示語の読み取り、内容理解 【ねらい】慣用句の意味や用法を理解し、適切に使用する対比、具体と抽象など評論文の基本的な読み方を身に付ける。	
	6	・わたしが一番きれいだった時 ・葉桜と魔笛	1 0 7	【学習内容】表現に即して詩のイメージを膨らませ、言葉で説明する。【ねらい】場面や情景、心情を読み取り鑑賞する力を付ける。小説の時代背景や設定を理解し、出来事などを正確に読み取る。	
	7	・葉桜と魔笛	1 2	【学習内容】小説の主題を考察し、根拠を明らかにして自分の考えを述べる。【ねらい】様々な解釈が成り立つことを知り、多様な読みが成り立つことを知る。	
	9	・働かないアリに意義がある	1 6	【学習内容】語句の意味理解と用法、筆者の主張を読み取る。【ねらい】具体例が筆者の意見とどのように対応しているかを理解し、論理の展開について読み取る。	
後期	10	・連帯という言葉の意味	1 4	【学習内容】語句の意味と用法、内容読解、筆者の主張を読み取る。【ねらい】筆者の主張に対する自分の考えを適切にのべる。	・電子黒板やホワイトボード等を活用する。拡大提示した本文に直接傍線を引く等、学習内容が理解しやすくなるように、視覚支援に努める。
	11	・身体の個別性	1 4	【学習内容】語句の意味と用法、内容読解、筆者の主張を読み取る。【ねらい】文章の論理的展開を捉え、筆者の主張を正しく読み取る。	
	12	・舞姫	2 4	【学習内容】「舞姫」の文学史上の位置付け、語句の意味理解、登場人物、人物同士の関わり、人物の心情を読み取る。 【ねらい】古典的作品を読む力を育む。人物の心情を捉え、作品の醸し出す情緒を味わう。時代と人間の生き方について考察を深める。	
	1			【学習内容】小説に描かれた人物、人物同士の関わりを読み取る。人物同士の関わりを通して人物の心情を考察する。【ねらい】人物像や心情の推移について他者と話し合うことを通して考えを深める。	
	2	・幼なじみたち	1 0	【学習内容】現代詩の内容理解、鑑賞【ねらい】詩の言葉に着目し、作者が感じた事柄を読み取る。	
3	・足と心	8			

3 評価の観点及び評価方法

評価は、次の3つの観点から行う。

知識・技能	語句の意味や用法、漢字を理解しているか。また、文中で適切に使いこなすことができているか。
思考・判断・表現	文章の論理的展開を捉え、筆者の考えを過不足なく読み取っているか。文学的文章においては人物や心情を読み取る際、語句や文、文章から根拠を示すことができているか。読んだ事柄に対して自分の考えを持ち適切に述べているか。
主体的に学習に取り組む態度	自ら問いを立てて考え続けたり、問について他者と話し合ったりすることを通してともに考えを作り上げようとしているか。

このため、具体的な評価の対象は次のものとする。(評価方法や評価のポイント)

- (1) 定期考査・小テスト (2) 課題・提出物 (3) 授業態度

令和5年度東京都立中央ろう学校 高等部シラバス

学 部	高等部	学 年	6 年	単位数	4
教科	数学	グループ名	6 年 理科系		
科目等名	数学総合演習				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の知識、考え方の整理と問題適用に向けての再構築を行う。 主に、数学ⅠⅡABの基本事項およびその活用方法について確認し、理解を深める。 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 ・習得した知識、技能の活用を通して、数学の良さを認識し数学を積極的に活用する態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。 ・応用問題や入試問題に積極的に取り組み、実践力を育成する。 				
担当教員	熊田 隆弥・迫田 亮太郎				
年間授業時数	140				
使用教科書					
副教材等	改訂版 大学入試共通テスト対策 ニュースタンド数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B 受験編				

学 習 計 画

	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容、ねらい(評価の観点)	指導の工夫 配慮事項
前期	4	・数学ⅠAⅡBの既習事項の確認と問題演習	12	・数学ⅠAⅡBの各単元の基本的な概念の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習および解説中心に進めていくが、時々確認テストを実施する。 ・基本的事柄を確認するとともに、公式の組み合わせや計算の工夫などが必要な実践問題を演習させ、多角的な視点から統合的・発展的に考察する力の育成を図る。 ・答案の記述方法(論理的な表現、数学的な表現)にも意識させる。 ・センター試験過去問、共通テスト過去問、大学入試問題等にも挑戦することで実践力を育成する。 ・少人数授業を生かして、個々の弱点補強や進路希望に合わせた対応をしていく。
	5	数学Ⅰ(数と式、2次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析)、数学A(場合の数と確率、図形の性質、整数の性質)、数学Ⅱ(式と証明、図形と方程式、三角関数、指数対数関数、微分積分)、数学B(ベクトル、数列)	12	・数学ⅠAⅡBの基本問題および発展問題演習(頻出傾向問題、入試問題など)	
	6		16		
	7		10		
	9		16		
後期	10	・数学ⅠAⅡBの総合問題・発展問題演習	14		
	11	(復習問題、頻出問題、応用問題、共通テスト対策、大学入試対策等)	14		
	12		12		
	1		12		
	2		12		
	3		10		

3 評価の観点及び評価方法

評価は、次の3つの観点から行う。

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数学ⅠAⅡBで学習した基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・問題解決へ向けて、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を活用して事象を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や問題解決に向けて主体的に取り組む態度、数学の良さを認識し数学を積極的に活用する態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断する態度を養おうとしている。

このため、具体的な評価の対象は次のものとする。(評価方法や評価のポイント)

(1) 定期考査や確認テストの実施 (2) 課題に対する取り組み方 (3) 授業中の様子や出席状況

令和5年度東京都立中央ろう学校 高等部シラバス

学 部	高等部	学 年	6	単位数	4
教科	地歴科	グループ名	文系・総合系 選択 AB		
科目等名	日本史B				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史に関する興味・関心を高め、自国の文化と伝統について認識を深める。 ・日本史を世界史的視野に立って総合的に理解し、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。 ・主題学習を通して、客観的かつ公正な資料により適正な歴史認識を育成する。 				
担当教員	青木泰雄				
年間授業時数	140				
使用教科書	改訂版 詳説 日本史B (山川出版社)				
副教材等	詳説日本史図録、復習と演習 日本史テスト (山川出版社)				

学 習 計 画

	月	単元	指導時数	主な学習内容 (学習のねらい)	指導の工夫 配慮事項
前期	4 5 6	原始・古代の社会・文化と東アジア	35	文化の始まり、農耕社会の成立、古墳とヤマト政権、飛鳥の朝廷、律令国家への道、平城京の時代、天平文化、平安王朝の形成、摂関政治、国風文化、地方政治の展開と武士 (原始社会の人々の生活の変化、大和朝廷による統一、律令に基づく古代国家の成立と推移及び文化の形成について東アジア世界の動きとも関連付けて理解する)	教科書や資料集の図・絵・写真・地図・グラフなどを活用する。 視聴覚教材を活用し、学習内容を理解しやすくなるように努める。
	7 9	中世の社会・文化と東アジア	35	院政と平氏の台頭、鎌倉幕府の成立、武士の社会、蒙古襲来と幕府の衰退、鎌倉文化、室町幕府の成立、幕府の衰退と庶民の台頭、室町文化、戦国大名の登場 (武家政権の成立から戦国大名の時代に至る 武家社会の進展と文化の展開について、東アジア世界の動向と関連付けて理解する)	
後期	10	近世の社会・文化	15	織豊政権、桃山文化、幕藩体制の成立、幕藩社会の構造、幕政の安定、経済の発展、元禄文化、幕政の改革、宝暦・天明期の文化、幕府の衰退と近代への道、化政文化 (織豊政権及び幕藩体制の特色と推移、社会・文化の動向について、国際関係の変化とその影響にも触れながら理解する)	教科書や資料集の図・絵・写真・地図・グラフなどを活用する。 視聴覚教材を活用し、学習内容を理解しやすくなるように努める。
	11 1 2 3	近・現代社会の文化と国際関係	55	開国と幕末の動乱、明治維新と富国強兵、立憲国家の成立と日清戦争、日露戦争と国際関係、近代産業の発展、近代文化の発達、第一次世界大戦と日本、ワシントン体制、市民生活の変容と大衆文化、恐慌の時代、軍部の体質、第二次世界大戦、占領と改革、冷戦の開始と講和、55年体制 (18世紀以降の国際環境の変化と幕藩体制の動揺、明治維新以降のわが国の近代化の形成、諸外国との関わり、二度の世界大戦とその後の政治・社会の変革について理解する)	

3 評価の観点及び評価方法

評価は、次の3つの観点から行う。

知識・技能	歴史に興味をもち、図・地図・グラフ・写真・インターネットなどから必要な情報を収集し活用する
思考・判断・表現	歴史的事項の原因や影響を追求し、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する
主体的に学習に取り組む態度	歴史的事象について主体的に課題を追究し、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚を深める

このため、評価は、具体的には次のものを対象とする。(評価方法や評価のポイント)

知識・技能：授業中の質問への応答、ワークシート、定期考査

思考・判断・表現：理論的な歴史的原因説明、質問への応答、ノートの整理

主体的に学習に取り組む態度：授業中の態度、授業に関する質問、質問への応答、課題の提出